

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	宮崎マルチメディア専門学校
設置者名	学校法人向洋学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	ITビジネス科	夜・通信	1350 時間	160 時間	
	CGデザイン科	夜・通信	558 時間	160 時間	
	Webクリエイター科	夜・通信	986 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

当校ホームページの「学校情報」にて公表：http://www.multi-m.jp/company_new/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	宮崎マルチメディア専門学校
設置者名	学校法人向洋学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

当校ホームページの「学校情報」にて公表： http://www.multi-m.jp/company_new/
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	前職 県立高等学校 教諭	令和元年9 月2日～ 令和5年9 月1日	組織運営体制への チェック機能
非常勤	前職 県立高等学校 教諭	令和元年9 月2日～ 令和5年9 月1日	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	宮崎マルチメディア専門学校
設置者名	学校法人向洋学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画の作成から公表までの手順を以下に示す。なお授業計画(シラバス)には、授業の方法、内容、年間計画、到達目標等の項目を定め、「授業計画作成ガイドライン」に沿って作成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 前年度(2月迄)に新年度のカリキュラムを作成する。 2. 1. で計画したカリキュラムを基に、全教員(常勤、非常勤)による授業計画会議を実施して各学科の方向性を明確にする。※この時点で授業計(シラバス)の案を各教員が作成しておくこと。 3. 授業科目の担当教員は、3月中旬までに授業計画(シラバス)を完成させ学科長に提出し、その後学校長が確認を行う。 4. 授業計画(シラバス)を新年度(4月)に学生に提示、本校ホームページでの公表を行う。 	
授業計画の公表方法	<p>当校ホームページの「学校情報」にて授業計画(シラバス)を公表。</p> <p>http://www.multi-m.jp/company_new/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学修成果の評価は各授業科目の授業計画(シラバス)に沿って行います。
定期試験の成績、課題(作品)やレポート等の提出物、出席状況や授業態度等の履修状況など、授業計画(シラバス)の項目「成績評価の方法」に基づき評価を行い、成績(点数)を算出します。
成績評価の基準は、優(100～90点)・良(89～70点)・可(69～40点)・不可(39～0点)として、不可の場合は追試とします。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

定期試験において履修科目の成績(筆記または実技試験、課題提出等)を点数(100点満点)に換算した上で、履修した学生の平均を求める。
学科及び学年毎に学生の成績分布表を作成し、警告対象となる下位1/4の範囲を明確に示します。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

当校ホームページの「学校情報」にて成績の分布状況を公表。
http://www.multi-m.jp/company_new/

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

1. 卒業の認定となる学修成果

卒業の認定となるディプロマポリシーを定め、その能力を身につけることとし、卒業までに習得すべきスキルと検定目標、さらに1年次、2年次に学修成果として課題のプレゼンを実施することによって卒業の認定となります。

(1) I Tビジネス科ではI T関連の基礎知識を理解しプログラミングができること。J a v aプログラミング検定受験。

(2) C Gデザイン科ではデザインツールを使い作品制作ができること。フォトショップ及びイラストレーター検定受験。

(3) W e bクリエイター科ではW e bページのデザインやコーディングができること。W e bクリエイター検定受験。

2. 卒業の要件

(1) 本校所定の教育課程の当該学年の単位をすべて修得していること。

※修得とは定期試験の成績の評価が40点以上であること

(2) 欠席日数が出席すべき日数の1/4以下であること。

3. 卒業判定

(1) 卒業試験終了後、定期試験の結果が出揃った時点以降に、定期試験の結果、出席日数等を基に卒業認定会議を実施する。※卒業認定の要件を備えていない学生については追試を実施後、再審議となる。

(2) 最終の卒業認定は学校長が行う。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

当校ホームページの「学校情報」にて「ディプロマポリシー」及び卒業認定基準を公表。

http://www.multi-m.jp/company_new/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	宮崎マルチメディア専門学校
設置者名	学校法人向洋学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.multi-m.jp/company_new/
収支計算書又は損益計算書	http://www.multi-m.jp/company_new/
財産目録	http://www.multi-m.jp/company_new/
事業報告書	http://www.multi-m.jp/company_new/
監事による監査報告（書）	http://www.multi-m.jp/company_new/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	ITビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1998 時間	724 時間	57 時間	1217 時間	0 時間	0 時間
			1998時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		79人	0人	5人	4人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）授業計画の作成から公表までの手順を以下に示す。なお授業計画（シラバス）には、授業の方法、内容、年間計画、到達目標等の項目を定め、「授業計画作成ガイドライン」に沿って作成します。

- 前年度（2月迄）に新年度のカリキュラムを作成する。
1. で計画したカリキュラムを基に、全教員（常勤、非常勤）による授業計画会議を実施して各学科の方向性を明確にする。※この時点で授業計（シラバス）の案を各教員が作成しておくこと。
- 授業科目の担当教員は、3月中旬までに授業計画（シラバス）を完成させ学科長に提出し、その後学校長が確認を行う。
- 授業計画（シラバス）を新年度（4月）に学生に提示、本校ホームページでの公表を行う。

成績評価の基準・方法

（概要）学修成果の評価は各授業科目の授業計画（シラバス）に沿って行います。定期試験の成績、課題（作品）やレポート等の提出物、出席状況や授業態度等の履修状況など、授業計画（シラバス）の項目「成績評価の方法」に基づき評価を行い、成績（点数）を算出します。成績評価の基準は、優（100～90点）・良（89～70点）・可（69～40点）・不可（39～0点）として、不可の場合は追試とします。

卒業・進級の認定基準

（概要）1. 卒業の認定となる学修成果
卒業の認定となるディプロマポリシーを定め、その能力を身につけることとし、卒業までに習得すべきスキルと検定目標、さらに1年次、2年次に学修成果として課題のプレゼンを実施することによって卒業の認定となります。

(1) ITビジネス科ではIT関連の基礎知識を理解しプログラミングができること。Javaプログラミング検定受験。

2. 卒業の要件

(1) 本校所定の教育課程の当該学年の単位をすべて修得していること。
※修得とは定期試験の成績の評価が40点以上であること

(2) 欠席日数が出席すべき日数の1/4以下であること。

3. 卒業判定

(1) 卒業試験終了後、定期試験の結果が出揃った時点以降に、定期試験の結果、出席日数等を基に卒業認定会議を実施する。※卒業認定の要件を備えていない学生については追試を実施後、再審議となる。

(2) 最終の卒業認定は学校長が行う。

学修支援等

(概要) クラス担任制。学生との二者面談を定期的実施し、また保護者との三者面談も実施し、学習や就職等の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
22人 (100%)	0人 (0%)	22人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) システム開発会社、システム運用・保守会社、Web制作会社			
(就職指導内容) 主な就職先としては、県内では(株)ペルテ、(株)カブ・テクノロジー、(株)システムイン、(株)宮崎県ソフトウェアセンター、(株)オー・エム・シー等。県内外の企業を招いて校内就職説明会を3月に実施し、以後随時校内で企業説明会・試験を実施します。担任、就職指導部で連携し、随時二者面談を実施し計画的に就職活動の指導を行っています。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 基本情報技術者試験4名合格、情報セキュリティマネジメント試験6名合格、ITパスポート試験7名合格、Javaプログラミング能力認定試験20名合格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
63人	3人	4.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による学生との面談と保護者への学校生活や学習状況の報告を定期的実施、新入生の保護者説明会と三者面談の実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	Webクリエイター科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1998時間	509時間	0時間	1489時間	0時間	0時間
			1998単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	43人	0人	7人	5人	12人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
<p>(概要) 授業計画の作成から公表までの手順を以下に示す。なお授業計画(シラバス)には、授業の方法、内容、年間計画、到達目標等の項目を定め、「授業計画作成ガイドライン」に沿って作成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 前年度(2月迄)に新年度のカリキュラムを作成する。 1. で計画したカリキュラムを基に、全教員(常勤、非常勤)による授業計画会議を実施して各学科の方向性を明確にする。※この時点で授業計(シラバス)の案を各教員が作成しておくこと。 授業科目の担当教員は、3月中旬までに授業計画(シラバス)を完成させ学科長に提出し、その後学校長が確認を行う。 授業計画(シラバス)を新年度(4月)に学生に提示、本校ホームページでの公表を行う。 	
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要) 学修成果の評価は各授業科目の授業計画(シラバス)に沿って行います。定期試験の成績、課題(作品)やレポート等の提出物、出席状況や授業態度等の履修状況など、授業計画(シラバス)の項目「成績評価の方法」に基づき評価を行い、成績(点数)を算出します。成績評価の基準は、優(100~90点)・良(89~70点)・可(69~40点)・不可(39~0点)として、不可の場合は追試とします。</p>	
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要) 1. 卒業の認定となる学修成果 卒業の認定となるディプロマポリシーを定め、その能力を身につけることとし、卒業までに習得すべきスキルと検定目標、さらに1年次、2年次に学修成果として課題のプレゼンを実施することによって卒業の認定となります。</p> <p>(1) Webクリエイター科ではWebページのデザインやコーディングができること。Webクリエイター検定受験。</p> <p>2. 卒業の要件</p> <p>(1) 本校所定の教育課程の当該学年の単位をすべて修得していること。 ※修得とは定期試験の成績の評価が40点以上であること</p> <p>(2) 欠席日数が出席すべき日数の1/4以下であること。</p> <p>3. 卒業判定</p> <p>(1) 卒業試験終了後、定期試験の結果が出揃った時点以降に、定期試験の結果、出席日数等を基に卒業認定会議を実施する。※卒業認定の要件を備えていない学生については追試を実施後、再審議となる。</p> <p>(2) 最終の卒業認定は学校長が行う。</p>	
<p>学修支援等</p> <p>(概要) クラス担任制。学生との二者面談を定期的実施し、また保護者との三者面談も実施し、学習や就職等の支援を行っている。</p>	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15人 (100%)	0人 (0%)	15人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等）Web制作会社、一般企業（広報・Web部門、事務職）、デザイン会社、システム運用・保守会社、システム開発会社			
（就職指導内容）主な就職先としては、県内では株式会社カワ、株式会社エアウェブ、服部プロセス株式会社等。県内外の企業を招いて校内就職説明会を3月に実施し、以後随時校内で企業説明会を実施します。担任、就職指導部で連携し、随時二者面談を実施し計画的に就職活動の指導を行っています。			
（主な学修成果（資格・検定等））Webクリエイター能力認定試験14名合格、Illustrator能力認定試験14名合格、Photoshop能力認定試験14名合格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24人	0人	0%
（中途退学の主な理由）中途退学者なし		
（中退防止・中退者支援のための取組）担任による学生との面談と保護者への学校生活や学習状況の報告を定期的に行い、新入生の保護者説明会と三者面談の実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	CGデザイン科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1998時間	359時間	0時間	1639時間	0時間	0時間
			1998時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	60人	0人	4人	5人	9人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要) 授業計画の作成から公表までの手順を以下に示す。なお授業計画(シラバス)には、授業の方法、内容、年間計画、到達目標等の項目を定め、「授業計画作成ガイドライン」に沿って作成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 前年度(2月迄)に新年度のカリキュラムを作成する。 1. で計画したカリキュラムを基に、全教員(常勤、非常勤)による授業計画会議を実施して各学科の方向性を明確にする。※この時点で授業計(シラバス)の案を各教員が作成しておくこと。 授業科目の担当教員は、3月中旬までに授業計画(シラバス)を完成させ学科長に提出し、その後学校長が確認を行う。 授業計画(シラバス)を新年度(4月)に学生に提示、本校ホームページでの公表を行う。
成績評価の基準・方法
<p>(概要) 学修成果の評価は各授業科目の授業計画(シラバス)に沿って行います。</p> <p>定期試験の成績、課題(作品)やレポート等の提出物、出席状況や授業態度等の履修状況など、授業計画(シラバス)の項目「成績評価の方法」に基づき評価を行い、成績(点数)を算出します。</p> <p>成績評価の基準は、優(100～90点)・良(89～70点)・可(69～40点)・不可(39～0点)として、不可の場合は追試とします。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要) 1. 卒業の認定となる学修成果</p> <p>卒業の認定となるディプロマポリシーを定め、その能力を身につけることとし、卒業までに習得すべきスキルと検定目標、さらに1年次、2年次に学修成果として課題のプレゼンを実施することによって卒業の認定となります。</p> <p>(1) CGデザイン科ではデザインツールを使い作品制作ができること。フォトショップ及びイラストレーター検定受験。</p> <p>2. 卒業の要件</p> <p>(1) 本校所定の教育課程の当該学年の単位をすべて修得していること。 ※修得とは定期試験の成績の評価が40点以上であること</p> <p>(2) 欠席日数が出席すべき日数の1/4以下であること。</p> <p>3. 卒業判定</p> <p>(1) 卒業試験終了後、定期試験の結果が出揃った時点以降に、定期試験の結果、出席日数等を基に卒業認定会議を実施する。※卒業認定の要件を備えていない学生については追試を実施後、再審議となる。</p> <p>(2) 最終の卒業認定は学校長が行う。</p>
学修支援等
<p>(概要) クラス担任制。学生との二者面談を定期的に行い、また保護者との三者面談も実施し、学習や就職等の支援を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100%)	1人 (5.3%)	15人 (78.9%)	3人 (15.8%)
（主な就職、業界等）デザイン会社、印刷会社、システム運用・保守会社、一般企業(広報部門)			
（就職指導内容）主な就職先としては、県内では(株)日向屋、(株)新生社印刷、(株)グローアップ、(株)CMYK、服部プロセス(株)等。県内外の企業を招いて校内就職説明会を3月に実施し、以後随時校内で企業説明会を実施します。担任、就職指導部で連携し、随時二者面談を実施し計画的に就職活動の指導を行っています。			
（主な学修成果（資格・検定等））Illustrator 能力認定試験 13 名合格、Photoshop 能力認定試験 11 名合格、カラーコーディネーター検定試験 4 名合格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45人	0人	0.0%
（中途退学の主な理由）進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組）担任による学生との面談と保護者への学校生活や学習状況の報告を定期的実施、新入生の保護者説明会と三者面談の実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
IT ビジネス科	100,000 円	660,000 円	220,000 円	
Web クリエイター科	100,000 円	660,000 円	220,000 円	
CG デザイン科	100,000 円	660,000 円	220,000 円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
向洋学園特待生制度 (1年次の年間授業料を免除。選考試験を行い結果により免除額が決まる。)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 当校ホームページの「学校情報」にて公表： http://www.multi-m.jp/company_new/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学生がよりよい教育活動を受けられることを目指し、学校をよりよくすることを目的とする。そのために、多岐に渡る意見及び、客観的な意見が必要となることから、卒業生・保護者・関連企業等の関係者を委員に命ずることとする。 実施方法は、「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目から学校が設定した項目について自己評価を行い、その中の課題等を学校関係者評価委員に説明して意見を頂き、対応できるものについては学校として早急に活用していく。年1回実施。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
学校法人旭進学園 宮崎第一中学高等学校校長	令和2年4月1日～令和3年4月1日 (1年)	中・高等学校
宮崎産業経営大学 経営学部 教授	〃	大学
株式会社ペルテ 取締役	〃	企業等委員
株式会社グロアアップ 代表取締役社長	〃	企業等委員
株式会社ジニアスエブ 代表取締役	〃	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 当校ホームページの「学校情報」にて公表： http://www.multi-m.jp/company_new/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		
無		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 当校ホームページの「学校情報」にて公表： http://www.multi-m.jp/
